

平成 18 年度 活動報告

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

1. 平成 18 年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等、CO₂排出権取引等の温暖化防止メカニズムの研究および普及促進等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その 1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その 2 CO₂排出権取引をはじめ、あたらしいメカニズム・システムの開発・普及

その 3 市民、企業等の緑化推進・循環型社会構築等に関わる社会貢献活動の普及・促進

今期は、設立から 4 年目を迎え、昨年度から進めてきた施設運営委託業務などに加え、長野市内 2 施設の指定管理者の決定を受けるなど新規事業が拡大した。また、国立長野高専をはじめとする関係機関等外部協力者との連携をはじめとして、各事業や普及啓発活動において多くの成果を残すことができた。

2. 平成 18 年度の事業実績概要

平成 18 年度は、昨年同様に当初の予定を大きく上回る事業を実施することができたため、活動状況については、実績に基づき整理した。

また、事業量の増加に伴い、指定管理者に決まったりサイクルプラザに 5 名の常勤スタッフを配置したほか、引き続き東和田情報ステーションに 4 名、事業量が一時的に増大することになるため事務局アシスタントを 2 名、事務局長 1 名（任期 1 年）を含む増強を行い計 12 名の有給雇用職員（パート勤務含む）の体制とした。

(参考 1 会員現況 平成 19 年 5 月 1 日現在)

1. 正会員（個人会員）	15 名
2. 正会員（法人会員）	11 社
3. 一般会員	2 名
4. 賛助会員	0 名
5. アドバイザー会員	9 名
合計	37 名（法人会員代表を含めて 48 名）

※正会員（個人会員）より正会員（法人会員）への移行もあり、正会員（個人会員）6 名減、正会員（法人会員）3 団体増であった。

(参考 2 法人会員について)

- ①法人会員については、その法人に属する 5 名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は 1 法人あたり、申し込み時に登録した代表者の 1 票とします。
- ③当 NPO 法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員名を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

今年度は、(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 新エネルギー、省エネルギーに関するビジョン、基本計画、導入ガイドの策定事業、(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営、(6) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣、(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業の8事業を行った。

それぞれの内容について、事業ごとに整理する。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

ながの環境フェア 2006 や清泉祭、住宅リフォームフェア 2006 などのイベントに、雨水循環利用、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくりなどの展示物を出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2006/6/10 ～6/11	住宅リフォームフェア2006	エムウェーブ	森のエネルギー 推進プロジェクトにて
2006/9/10	ながの環境フェア2006	長野市清掃センター	指定管理者 プロジェクトにて (全参加者 4,600名)
2006/10/21 ～10/22	清泉祭「NPOの広場」	清泉女学院大学・ 清泉女学院短期大学	
2006/12/21 ～展示中	ペレットストーブ・ペレットに関するパネル提供 (長野市森林整備課)	長野市役所第二庁舎 1階ロビー	森のエネルギー 推進プロジェクトにて

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

○県産材利用プロジェクト

今年度のはじめに竣工した信州環境住宅「高窓の家」の完成見学会を開催し、県産材を用いた家づくりの普及啓発に役立てた。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2006/4/16	信州環境住宅「高窓の家」完成見学会	高窓の家（上田市）	参加者 10 名

○ESD（持続可能な開発のための教育）・環境教育プロジェクト

第 11 回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業に応募して採択された。

事業では指定管理を行っている長野市青少年錬成センターを活動拠点とし、その周辺に広がる豊かな自然環境を学習の場として、里山の手入れや植樹体験、キノコの駒打ち体験、自然観察会、ビオトープ池づくりなどの環境学習を実施した。

この活動には地元の学生（国立長野高等専門学校、長野市立皐月高校、長野県立坂城高校の生徒）が参加し、環境に関する知識やコミュニケーション力の向上を図るとともに、錬成センターの自主事業の運営サポート役として参加することにより、次世代を担う人材育成に実践的に寄与した。

【制度概要】

申請先：社団法人 北陸建設弘済会

テーマ：こどもたちの参加型体験学習「長野の森林を後世に引き継ごう」

内容：長野市の小田切地区をフィールドとし、里山の手入れや林産物の生産・調理体験などを行い、そのときの発見や感動などを発信し、森林保全に向けた普及啓発を広めていく。

実施期間：平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 ONPO活動促進プロジェクト

地域や自然環境の保全などに取り組むNPO活動を支援するための助成制度に応募し、2件が採択された。この2件は本年度のプロジェクトとして応募したものであり、助成の採択を受けこれらの事業を事業化した。このため各事業は、「(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営」へ移行した。

①平成18年度 地球温暖化防止に係る国民運動におけるNPO・NGO等の民間団体とメディアとの連携支援事業

※SBC信越放送との協働で事業を実施

申請先：チーム・マイナス6%運営事務局 連携支援事業係

テーマ：「森が僕らを暖めるー信州の森から地球を眺む」

内容：森林バイオマスと地球温暖化問題等をテーマにした小中学生向けのシリーズセミナーを開催し、セミナーの様子を小中学生やその保護者が視聴するテレビ番組やラジオ番組で放送する。また、森林資源が豊富である長野県ならではの取り組みとして、地球温暖化対策への意識を高め、地元の木を燃料とするペレットストーブの普及を図った。

実施日：平成18年8月19日、9月2日、9月15日、9月17日、9月24日

②平成18年度 地球温暖化防止活動支援補助金

申請先：長野県地球温暖化防止活動推進センター

テーマ：「エコ・マラソン In 長野」の推進

内容：中学生や高校生・大学生など、次世代を担う若者達の取り組みをテーマに、技術の粋とアイデアを結集して自作したガソリン消費の少ない自動車(エコカー)を使い、省エネルギーや新しい交通・自動車利用等に関する一般の方への意識の高揚、技術の普及啓発を行った。

実施期間：平成18年8月1日～平成19年3月31日

(4) 新エネルギー、省エネルギーに関するビジョン、基本計画、導入ガイドの策定事業

財団法人日本住宅木材技術センターから、『木質ペレット利用促進セミナー』の委員を理事長が任命され受諾した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2006/11/6	木質ペレット利用推進セミナー	ウェルサンピア松本 (松本市)	委員として出席 1名

(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営

①平成18年度 地球温暖化防止に係る国民運動におけるNPO・NGO等の民間団体とメディアとの連携支援事業

暖房の石油消費量が多い長野県で、代替エネルギーである木質ペレットへのシフトをめざし、地球規模での環境教育をベースとした体験型環境教室・シリーズセミナーを4回開催した。毎回、知識と経験豊富な講師を招き、信州の森から地球規模まで様々なお話を聴きつつ、自分たちの手で間伐、破碎、乾燥、ペレット製造、ペレット燃焼までを体験した。

この事業はSBC信越放送と協働で実施しており、当NPOがセミナーを運営し、そのセミナーの広報活動（CM）や、セミナーを題材にした番組の製作・放映をSBCが行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2006/8/19	第1回「森と地球と伐採体験」	長野市青少年 錬成センター	参加者 27名
2006/9/2	第2回「森の木を上手に使う」 「破碎体験」	長野市青少年 錬成センター	参加者 21名
2006/9/15 2006/9/17	第3回「森林バイオマスの先進国から」 「乾燥・ペレット製造体験」	もんぜんぷら座 長野市青少年錬成センター	参加者 42名
2006/9/24	第4回「自然エネルギーペレット」 「ペレット暖房・調理体験」	長野市青少年 錬成センター	参加者 28名

②地球温暖化防止活動支援補助金

長野県内でエコカー作りの活動をしている次世代を担う若者達の取り組みである、「ガソリン1リットルで何km走れるか」を競うエコカーの燃費競技大会への参加・環境イベントへの出展などの活動をサポートし、県内の多くの方々に地球温暖化防止に対する意識の高揚、省エネルギー技術の普及啓発を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2006/9/10	ながの環境フェア 2006 ブース展示、展示	長野市リサイクルプラザ	参加者 4,600 名 (フェア全参加者)
2006/10/21 ～12/17	東和田情報ステーション展示	東和田情報ステーション	参加者 209 名 (58 日間)

(6) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

国土交通省長野国道事務所から理事長が任命された『長野県移動性・安全性向上検討委員会』に委員として出席したほか、グループで受託した長野市青少年錬成センターで開催された自主事業イベントや高原学校の環境学習会に講師を派遣した。なお、当NPOが直接受託している長野市リサイクルプラザにおいては、スタッフが通常業務として事業を行っている。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2006 年度	長野県移動性・安全性向上検討委員会	国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	委員として 出席 1 名
2006/5/20	春ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年錬成センター	講師として 出席 2 名
2006/6/30	若槻小学校 (高原学校)	長野市青少年錬成センター	講師として 出席 2 名
2006/7/8	夏ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年錬成センター	講師として 出席 3 名
2006/10/14	秋ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年錬成センター	講師として 出席 3 名
2007/1/2	冬ふれあい自然体験教室 講師	長野市青少年錬成センター	講師として 出席 2 名

※長野市青少年錬成センターへの講師派遣については、指定管理者プロジェクトの一環として実施した。

(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

昨年度に引き続き、雨水循環利用の普及啓発活動を実施した。今年度中には、雨水利用装置を長野県外に8セット（福島県、岡山県、新潟県）販売・設置を行った。

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及による森と街を資源循環でつなぐことを目指し、長野県林務部（信州の木利用推進課）と協働しながら普及啓発活動を行った。今年度の補助金（長野県）は、設置者が申請することになったため、問い合わせがあった場合にストーブの選定から、購入、設置、メンテナンスまでをトータルでコンサルティング、サポートした。

また、燃料であるペレット755袋（約7.5t）を代行販売したり、環境学習会などにおいてペレットの普及に努めた。

(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

①東和田情報ステーションプロジェクト（業務委託）

昨年度に引き続き、今年度も国土交通省関東地方整備局長野国道事務所管内の東和田情報ステーション（長野市東和田 854-1）において、NPOと行政機関との協働事業による施設利活用と管理の業務を受託した。

この業務では、道路環境保全に関する情報提供を行うことなどによる活用の方法を検討し、各種のイベントを実施した。

なお、施設には、4名の研究員スタッフが交替で、1年間毎日の常駐勤務した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	摘要
2006/4/1 ～3/31	施設利用者	利用者総数 12,369名
2006/4/1 ～3/31	東和田情報ステーション管理及び活用検討業務	施設管理は、スタッフ4名の常駐
2006/8/19	環境保全に配慮しているみちの技術とくるま道の駅スタンプラリー（別業務）	参加者 499名
2006/10/21 ～12/17	超低燃費・低排出ガスで走る エコランカーを展示します	参加者 209名 (58日間)
2006/12/16	どうろではたらく車大集合！！	参加者 41名
2007/1/13	自分だけのかわいいえんぴつをつくろう！	参加者 25名
2007/2/24	旅人の気分でみちの歴史を知ろう！！	参加者 28名
2007/3/17 ～3/31	毎日使うみち、みんなのみち ふれあいのみち展	参加者 104名 (15日間)

②指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である、「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、本年度から長野市内2施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働で維持・管理・運営を行った。長野市リサイクルプラザ（リフレッシュプラザ）はCO2バンク推進機構単独、長野市青少年錬成センターは共同事業体 信州地域ネットワーク・プロジェクト（代表：信州林業株式会社ほか4社）である。

また、長野市青少年錬成センターを拠点とした小田切地区の地域資源と人的ネットワーク構築に向けた実践活動として、国立長野高専技術振興会「信州まち育て研究会」との協働により、里山観察会やビオトープ池の観察会等のイベントを開催した。

(1) 長野市青少年錬成センター

長野市青少年錬成センターは、小田切の美しい自然の中で、子どもたちに様々な活動の場を提供している。施設は、キャンプ場・体育館・グラウンド・音楽室・宿泊施設などがあり、スポーツ団体・育成会・小学校の高原学校などに利用していただいている。また、年間17回の自主事業を開催し、「自然体験」「地域交流」「世代間交流」などのレクリエーション・環境学習を提供している。

活動内容一覧（長野市青少年錬成センター関連）

実施日時	事業内容	概要
2006/4/1 ～2007/3/31	施設利用者	延べ利用者数 18,227名
2006/5/19 ～2007/3/10	自主事業 計17回	参加者計789名
2006/7/27 ～7/28	長野県みどりの少年団交流集会 (財団法人長野県緑の基金より委託)	参加者計116名
2006/11/25 ～11/26	キャッチボールのできる公園づくり 第2会場 (主催：信州地域ネットワークプロジェクト)	参加者計114名

『キャッチボールのできる公園づくり』

(社)日本野球機構の支援、国土交通省の協力のもと、学識経験者や野球関係者、公園管理者などで構成される「キャッチボールのできる公園づくり推進会」は、公園でキャッチボールを行う場合のルールづくりなどを推進する事業として、全国から13地区のモデル事業が選定された。長野プログラムはそのうちのひとつであった。

「キャッチボールのできる公園づくり」事業は、11月25、26日の2日間の日程で行い、参加者667名であった。初日の南長野運動公園のオリンピックスタジアム会場では、オープニングセレモニーとキャッチボール教室、お楽しみイベントを開催した。また、キャッチボール教室と並行して、芝生広場会場においてふれあいキャッチボールを行った。会場を長野市青少年錬成センターに移して、スポーツ選手の食事メニューを想定した夕食の後、参加した子どもと保護者は体育館でドッチボール、卓球、バドミントンなどで交流を深めた。その間、各種スポーツのコーチや父母・高校生などは、指導者講習会を受講した。2日目は、ゲーム感覚で実戦試合を体験できるように、グラウンドを使ったレクリエーションを実施した。地元の障がい者施設の入所者も参加して、大勢で野球の楽しみを実感した。事業の最後に「また会おう交流会」として、参加者全員に、まとめ・感想のリレー発言で締めくくりの交流会とした。

(2) 長野市リサイクルプラザ

長野市リサイクルプラザは、リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、年間6回行うリサイクル広場などの不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）の活動の場を提供している。

活動内容一覧（長野市リサイクルプラザ関連）

実施日時	事業内容	摘要
2006/4/1 ～2007/3/31	施設利用者	利用者総数 21,528名
2006/4/6 ～2007/3/26	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 13グループ)	利用者 1,192名
2006/4/6 ～2007/3/18	ゆめ工房 21 体験講座 (6グループで 34回開催)	参加者 530名
2006/6 2007/2	着物のリフォーム教室 (4週連続の日曜日)	参加者 111名
2006/5, 7, 9, 11 2007/1, 3	リサイクル広場 (奇数月に 6回開催)	利用者 2,856名
2006/4/22 ～2007/3/21	自主事業 12回開催	参加者 165名
2006/11/17 ～2006/12/10	ペレットとペレットストーブ見学会・体験会	参加者延べ 801名
2006/5, 6, 9, 10	フリーマーケット 4回開催 (共催)	参加者 5,400名
2006/9/10	ながの環境フェア 2006 開催 (共催)	参加者 4,600名

企画展「ペレットとペレットストーブ見学会・体験会

本プラザに常設している近藤鉄工製の信州型ペレットストーブに加え、長野県林務部（信州の木活用課）の協力を得て3台の新型ペレットストーブを展示、当NPO会員から外国製のペレットストーブ1台を借り受け、ペレットストーブの実物に触れ、比較できる展示とした。特に玄関先ではペレットストーブの点火を行い、炎の魅力や操作の手軽さ、安全性を来館者に実感してもらった。当NPOで9月～10月にかけて開催したペレットセミナー全4回のパネル展示を行い、森づくりと林地残材として廃棄されていた間伐材の有効利用、化石燃料からの代替エネルギーとしての役割などをわかりやすく伝えた。当初、11月17日（金）から11月30日（木）までを企画展として予定していたが、好評であったため、さらに12月1日（金）から10日（日）まで期間を延ばして開催した結果、この展示会の利用者は延べ801名となった。